

世界史

I 次の文章を読んで空欄に最も適切な語句を記入し、下線部についてあとの問いに答えよ。

唐王朝前半期の国家体制を日本の学界では、慣用的に「律令国家体制」^[1]と呼んでいる。しかし、この用語は律令を導入して古代国家を形成した、日本の「律令国家体制」のイメージを中国史に再度投影したもので、中国の学界ではあまり使用されていない。なぜなら中国において、いわゆる「律」という法典は、秦漢から明清にいたるまで一貫して権威を保持しており、隋唐時代に限った話ではないからである。そうではあるが、均田制・租調庸制・府兵制などの制度が維持された、6世紀末から8世紀中葉の隋・唐前半期の国家体制は、律・令二大法典を基本^[2]として構成されていたので、この時期をひとくくりにして呼ぶ際に「律令国家体制」は、便利な用語として現在も使用されているのである。

ところで、日本古代の朝廷が国制を形成する際に大いに参照したのは、律令のうち令の方である。唐令はその4分の1が官僚制度の構成（官品・定員・職掌）を規定し、その他の条文も大半が官僚とその職務に関する規定である。^[3]官僚制による支配を打ち立てようとした日本の統治者たちが、律よりも令を優先し、その結果、律が現在逸文しか残っていないのに対して、令は『養老令』として現在まで残存しているのも無理はない。

一方、中国では、唐朝の令に規定されたいわゆる律令官制は、この時期の王朝の性格を如実に表している。まず、門閥貴族の時代にふさわしく、形式を整えるため、『周礼』の「六官」制や『礼記』王制の「三公九卿」など儒教經典に説かれている理想的な官制を再現しようとして、三省・六部・九寺によって編成される中央官制を構成した。

宰相は三省の長官たちによって構成され、このうち、詔勅の草案を作る A 省と、詔勅案を審議する B 省が政策立案にあたる。発せられた詔勅を施行するのは尚書省とその下部機構の六部で、主に文書行政を掌り、その指令を受けて実

務にあたるのが九寺である。例えば司法に関する事柄は、尚書省六部のうちの **C** 部が上級官庁で、主に政令を扱い、その統轄下にあるのが九寺のうちの大理寺といった具合である。

政策の立案過程において **B** 省が、詔勅の審議権を有していた点に、皇帝権力を牽制する門閥貴族の理念を見て取れるが、そうした貴族的性格は他にも見受けられた。尚書省六部のうち、筆頭にあるのは文官の人事を掌る **D** 部である。将来の宰相候補者とみなされたのは、**A** 省などで詔勅文の執筆にあたる文筆を掌る官僚で、当代一流の文士が選抜任命された。これが科挙の主要科目が詩文であった理由である。こうしたエリート官僚は泥臭い実務から離れていたため、「清官」と称され、貴族の就く高貴な官職とされた。

また、当時の史書によれば、文筆・人事・監察などの多方面の分野の官職を歴任することが出世コースとされており、専門職よりも総合職が尊ばれたのである。四書のひとつで、孔子と弟子の対話と言行を記した『**E**』には、次のような孔子の言葉が記されている。「君子は器ならず」。言う心は、君子たる者、技術的であってはならないということである。器物は特定の用途のために作られ、その用途のみに役立つ。船は海に浮かべるが、山に行くことはできない。車は陸を走るが海は渡れない。君子はそのような器物ではない、というのである。これは前近代中国官僚制に通底する理念であり、とりわけ、貴族的な身分制秩序を体現する律令官制にあてはまる言説といえよう。

しかしながら、皇帝権力は一方的に貴族層に譲歩していたわけではない。官僚の階級は、正一品から従九品下にいたる30段階に等級づけられ、このうち五品以上の官僚には、子息を官職につけることができる恩蔭、世襲的田土である官人 **F** 田、同居親族の一部租税免除など、代を継いで家を繁栄させることができる世襲的な特権が与えられた。逆に言えば、貴族としての家門維持のためには、是非とも五品以上の官に出世しなければならないということである。

貴族たちは、次第に科挙を受験することによってエリート官職を目指すようになり、受験を有利にするために、先祖代々の地元を離れ、首都とその周辺へ移住し始める。唐朝官制は次第に貴族層を、朝廷の官職に依存する存在へと変えていった。こういった次第で、隋唐300年の間に生じた貴族階級の変質は、唐王朝の崩壊とと

もに門閥貴族層の消滅をもたらしたのである。

- [1] 漢王朝では律が基本法で、令が律を補充する法であり、対等の関係ではなかった。律を刑法典、令を行政法（民法的内容も含む）として「律・令」両者を並立させる法体系を作ったのは、3世紀に一時中国を統一した王朝である。265年に建国され、洛陽に都したこの王朝の名を漢字2文字で答えよ。
- [2] (a) 律令を運用するための施行細則を何というか。
(b) 律令を補充・改正する法典を何というか。
- [3] 現在では一般的に民法で扱う親族関係や家産に関する規定は、唐令の中では戸籍などを扱う篇に規定されているが、六部のうち、戸籍や財政を担当するのはどれか。

II 次の文章を読んで空欄に最も適切な語句を記入し、下線部についてあとの問いに答えよ。

明の時代の前半期においては、皇帝が代替わりをするごとに、その施政方針が大きく転換した。以下、15世紀前半における明の対外政策の変遷を中心に、その様子を概観する。

1398年、明の太祖洪武帝が70年の生涯を終えると、皇太孫の朱允炆が若くして即位した。[A] 帝である。[A] 帝は、側近の進言に従って洪武帝の方針とは相反する新政策を次々と実行したが、その一つが削藩、すなわち諸王の勢力をそぐ政策であった。この動きに不安を感じたのが、北辺防衛で大きな戦果を挙げていた洪武帝の第4子、[B] 王の朱棣であった。1399年、追い詰められた彼は北平（現在の北京）で挙兵した。実戦で鍛えられた強力な軍団を率いる [B] 王は、当初圧倒的に不利であった戦局を4年がかりで挽回して攻勢に転じ、1402年、首都の応天府（現在の南京）の攻略に成功する。

こうして [C] の役と呼ばれるこの内戦に勝利した [B] 王は帝位に就いた。成祖永楽帝である。父の洪武帝が内政の整備に力を注いだのに対し、永楽帝は積極的な対外政策を展開した。⁽¹⁾まず南方では、即位直後にベトナムの内紛に介入して出兵すると、交州（現在のハノイ）に交趾布政使司を置き、この地を中国領土として支配した。また東北方面では、黒龍江（アムール川）河口に艦隊を派遣して奴兒干都司を設置し、女真族に対する⁽²⁾羈縻支配を進めた。さらに1405年からは、東南アジアからインド洋沿岸各地にかけて、鄭和の率いる大艦隊を永楽帝の在位中に6回派遣した。この一連の [D] 遠征によって、艦隊根拠地のマラッカ王国を経由した⁽³⁾朝貢貿易が盛んとなった。

一方、西北のモンゴリアは、東のタタール（韃靼）と西の [E] （瓦剌）の二大勢力に分かれていた。まずタタールが力をのばして明と対立したため、1410年、永楽帝は自ら大軍を率いて出陣し、タタール軍に大きな打撃を与えた。この戦いで衰えたタタールに代わって、今度は [E] が台頭して明と対立するに至った。1414年、永楽帝は50万の大軍を率いて親征し、 [E] 軍に大打撃を与えた。永楽帝はその後もモンゴルに出陣したが、1424年、5回目のモンゴリア親征からの帰路、

楡木川^{ゆぼくせん}の幕営で65歳の生涯を終えた。

永楽帝の跡を継いだ仁宗^{こうき}洪熙帝は在位1年に満たずに病没し、その長子の朱瞻基^{せんき}が即位した。宣宗宣徳帝である。内政の立て直しを優先した宣徳帝は、交趾布政使司を放棄してベトナムから撤退し、対モンゴリア防衛線を長城の内側に後退させるなど、明の支配領域を大幅に縮小した。

1435年、宣徳帝が崩ずると、太子の朱祁鎮^{きちん}が9歳の若さで即位した。英宗^F帝である。当時、モンゴリアでは^Eの勢力が再び大きくなり、指導者のエセン=ハンは武力を背景にしきりに明に通商を求め、1449年、明への進撃を開始した。これに対し、^F帝は側近の勧めに従って50万の兵を率いて大同まで進撃した。ところが戦況は好転せず、北京への帰還の途中、エセン=ハン率いるモンゴル騎兵の急襲をうけ、^F帝は捕虜となった。^Gの変と呼ばれるこの事件を境に、その後の明の外交方針は守勢に転じることとなったのである。

- [1] 洪武帝は、庶民の職業を固定化して土地に縛り付け社会の流動化に歯止めをかけるため、元の制度に倣^{なら}って戸籍制度を採用した。里甲制の基盤として税役を負担した農民や商人などの一般の家は、何という戸籍に分類されたか。
- [2] この事件に先立つ13世紀に、元の侵攻を3度にわたって撃退した北部ベトナムの王朝を何というか。
- [3] 15世紀に、カンボジアのアンコール朝やタイ北部のスコータイ朝を支配下に置き、マラッカ王国とたびたび軍事衝突を繰り返したタイ人の王朝を何というか。

Ⅲ 次の文章を読んで空欄に最も適切な語句を記入し、下線部についてあとの問いに答えよ。

14世紀に始まった英仏百年戦争でジャンヌ＝ダルクが活躍したのは、百年戦争が終結する約20年前の2年間である。そのうち戦線に立ったのは前半の1年であり、後半の1年は敵軍に捕えられて獄中にいた。宗教裁判にかけられたジャンヌは異端宣告を受け、火刑に処せられた。しかし1455年、処刑裁判の再審が開かれ、ジャンヌの異端宣告は破棄された。現在ではジャンヌはカトリック教会によって聖別された聖女である。では当時なぜジャンヌは異端として処刑されたのだろうか。

ジャンヌが参戦した英仏百年戦争は、14世紀にフランスの 朝が断絶して王位がヴァロワ朝に受け継がれたとき、母親が 家出身であったイングランドのエドワード3世が王位継承権を主張することにより始まった。その背景にはヨーロッパ大陸における英仏の領土問題がある。当初、 兵による速射でフランス軍を圧倒したイングランド軍は、1346年にフランス騎士軍とジェノヴァ傭兵軍を破った の戦いや1356年にエドワード3世の息子 が活躍したポワティエの戦いで、フランス軍に対し優勢となった。さらに1358年の重税と傭兵の略奪に抵抗したフランス北部の農民による の乱、14世紀後半に数度にわたりヨーロッパで流行した疫病である のために、1422年に 世が王位を継承した頃にはフランスはすっかり疲弊していた。

1429年、イングランドに対して苦戦を強いられていたフランスに、「乙女」と呼ばれるドンレミ村の農家の娘ジャンヌ＝ダルクが現れる。神のお告げを聞いたとフランス王を励ますジャンヌは、フランス軍を率いてイングランド軍を破り、包囲されていたロワール河畔の町 を解放した。これをきっかけに戦況はフランスの攻勢に転じ、フランスは百年戦争に勝利したといわれている。しかし、ジャンヌに窮地を救われたフランス王 世は、ランスで正式に王として戴冠してからは、ジャンヌ＝ダルクの活躍を疎んじ、イングランド軍に捕えられるままにした。その理由のひとつは、王とジャンヌの意図に相違があったためである。ジャンヌはさらなる戦闘による領土奪回の必要を感じていたが、王はイングランドと同盟していたフランス東部の大諸侯 公であったフィリップ善良公と外交交渉による

解決を考えていた。1430年5月、十分な援軍のないまま、フランス北部での戦闘を強いられて退却中、^{しんがり}殿のジャンヌが帰還する前に味方の要塞の扉が閉ざされ、ジャンヌは敵軍に捕らえられた。その後ジャンヌは神学者たちの要請によりルーアンで宗教裁判にかけられ、異端を宣告される。このとき世俗裁判への引き渡しは命じられたが、^[1]その判決を待つどころか、ジャンヌは直ちに火刑台へ送られた。むろん違法行為である。ジャンヌの処刑後、イングランド軍は反撃を開始した。この処刑裁判は、G世の戴冠が異端者の援助によると糾弾しており、王位継承を否定するために仕組まれたものであったことが、後の「復権裁判」で証言されている。

イングランド軍の戦闘再開には、勇将ジャンヌを捕えておくだけでは十分ではなかった。というのも、イングランド兵のあいだではジャンヌは^[2]悪魔の弟子として恐れられ、戦意消失や逃亡が生じていた一方で、フランスでは聖女として崇拜され治療や奇跡を求めて訪れる者さえいたからである。宗教が日常生活に深く浸透していた中世ヨーロッパの人びとにとって、神の「声」を聞く聖女や聖人は、その^[3]聖像や聖遺物を通じて常に身近で現実的であり、神に等しい存在だった。ジャンヌがドンレミを出てヴォークルールで護衛を得てシノンに居を構えるフランス王G世に謁見できたのも、人びとが神の奇跡を信じていたからである。それゆえ民を思い通りに支配するためには、ジャンヌは遺体の灰にいたるまで無き者にしなければならなかった。

1449年、フランス王G世は30年間イングランドに支配されたルーアンを奪還すると、ルーアンで行われたジャンヌの処刑裁判の真相解明を教会に命じた。1453年、ジャンヌ処刑から22年後、イングランド領であったボルドーを中心都市とするフランス西部のワインの産地Jをフランスが奪回した。フランスは^[4]カレーを除くほぼ全領土を回復し、百年戦争は終結した。ジャンヌの復権裁判の開始はその2年後である。ジャンヌの^{なきがら}亡骸は埋葬されず失われたが、^[5]『処刑裁判記録』と『復権裁判記録』に今でもジャンヌの「声」は残っている。

- [1] 戦時捕虜として収監されたジャンヌを異端審問で裁くことを願い出たのは、ボーヴェの司教ピエール=コーションであった。親イングランド派であったコーションが総長を務め、トマス=アクィナスやウィリアム=オブ=オッカムが教鞭を執った中世神学の最高権威の大学は何というか。
- [2] 異端審問とは異なり、民間の呪術信仰に対する迫害を目的に、悪魔の手先と見なされた者に行われた裁判は何と呼ばれるか。
- [3] キリスト教の教えにもとづき、726年、偶像崇拝を禁止する命令が出されたと言われている。このときのビザンツ皇帝は誰か。
- [4] 1346年から47年にかけてカレーはイングランド軍に包囲された。降伏のとき、6人の代表が人質になりカレー住民の命が救われた。これを記念して苦悩する6人の群像『カレーの市民』が19世紀に制作された。『考える人』の制作者としても知られている、人間の内面性を力強く表現したフランスの彫刻家は誰か。
- [5] ジャンヌはフランス語しか話せなかったため、裁判はフランス語で行われた。裁判後、記録は知識層の共通語に翻訳された。その言語を何というか。

Ⅳ 次の文章を読んで空欄に最も適切な語句を記入し、下線部についてあとの問いに答えよ。

アメリカは他国に先駆けて大量生産・大量消費社会を実現させたといわれている。その象徴ともいべき人物が20世紀の初頭、自動車王と呼ばれた A である。A は B ライン方式と呼ばれる流れ作業を製造工場に導入して作業を効率化し、大量生産することによって自動車^[1]の大幅な価格値下げに成功した。こうして大量生産された製品を大量に消費する生活様式は、アメリカの自由と民主主義と不可分のものとして強調されるようになった。

このような生活様式はどのようにして作られたのであろうか。植民地時代のアメリカ^[2]に関して、人口の大多数が農村に居住し自給自足の社会であった、と思われがちである。しかし生活必需品の生産に必要な原料や道具をすべて所有していたのは、マウント・ヴァーノン（現ヴァージニア州）に大農園を所有し、のちにアメリカ初代大統領となる C など、少数の富裕層に限られていた。そのため、多くの場合は隣人と物々交換をしたり、行商人や地元商店で商品を購入したりすることによって、生活していた。そして18世紀になると、アメリカ北東部では、あらゆる社会層の人々が生活の質を向上させるような品物、たとえばテーブルクロスなどのリネン類や、肉などの味付けに使用される胡椒^[3]などの香辛料、そして砂糖や茶などを輸入するようになっていた。とりわけ茶は、当時のアメリカの主要な飲み物であったが、イギリスが東インド会社にアメリカへの茶輸出を独占させようとしたところ、それに反対する人々が東インド会社の船の積み荷を海に投げ込む D 事件を起こし、イギリス製品不買運動を開始した。これらの事件はのちの独立戦争^[4]のきっかけとなったが、アメリカの人々がイギリス製品の消費者であったからこそ、不買運動が影響力を持つと考えられたのである。

18世紀末以降に運河や有料道路といった交通網が整備されると、アメリカ北東部の人々の生活は大きく変化した。それまで地元生産品で生活をまかなっていた人々は、しだいに遠方で生産され、定期的に輸送されてくる日用品や食材に依存するようになった。こうした変化は家族の関係にも影響を与えた。特に糸つむぎや機織り^[5]などの仕事は、これまで家庭内において、特に女性によって行われていたが、1830

年頃になると工場製品が普及して、家内での繊維製品の生産が衰えた。富裕層のあいだでは家事・育児のみ行う専業主婦が生まれ、農村でも、行商人などが持ち込む新しい製品を所有することが富や地位の象徴となるにつれ、とりわけ女性が消費者^[6]として積極的な役割を果たすようになった。

同じく19世紀に入ると、ニューヨークなどで衣服産業が発達した。のちに弟とともにブルックス・ブラザーズ社を設立するヘンリー＝ブルックスの場合、1812年の **E** 戦争以前はニューヨークで食料雑貨店を営んでいたが、やがて安価な布地で作られた作業服の販売を始めて成功した。また大量生産されて価格の下がった衣服などは、工場などで働く労働者のみならず、中西部の農村地帯^[7]にも送られて消費された。とくにアメリカ西海岸と東部工業地帯を結ぶ **F** 鉄道が通り、五大湖やミシシッピ川水系の要であるシカゴに本社を構えたシアーズ社は、このころ発達した郵便制度と郵便料金の値下げを利用して、通信販売を開始した。豊富なイラストや文字で埋め尽くされた同社の分厚いカタログは、農村の購買意欲をかきたてた。

20世紀に入ると、このような通信販売の大手企業は、都市郊外に店舗を構えるようになった。冒頭で述べたように、客は自動車でこのような店へ出かけ、買い物を楽しむことによって余暇を過ごした。そして生きていくための必需品以外の商品を買う消費が、多くの人々にとって生活の重要な要素となり、消費を美德とする新たな価値観が誕生した。1920年代には、音楽や演劇、スポーツ^[9]などの娯楽を中心とした大衆文化が開花し、人々の消費活動はさらに多様化したのである。

- [1] 1883年に自動車エンジンの原型となる内燃機関を発明し、やがてガソリン自動車を完成させ、その製造販売を始めた人物の名前を答えよ。
- [2] この時代、大西洋に面した南北アメリカ大陸と西ヨーロッパと西アフリカの間に綿花や砂糖、武器や雑貨、そして奴隷を運ぶ貿易が行われていた。それを何と呼ぶか答えよ。

〔3〕 スラウェシ島とニューギニア島のあいだに位置し、香辛料を多く産出したことと知られる諸島を次のア～オの中から1つ選び、記号で答えよ。

ア. カロリン諸島

イ. ビスマルク諸島

ウ. 澎湖諸島

エ. モルッカ諸島

オ. パラオ諸島

〔4〕 マサチューセッツ州のコンコードに集めた武器や弾薬を接収するために向かったイギリス軍を、植民地の民兵が迎え撃った。コンコードの戦いに先立つ、独立戦争最初の戦いを何と呼ぶか、答えよ。

〔5〕 飛び杼^ひを発明して紡績業の発展に大きく貢献した人物の名前を答えよ。

〔6〕 女性たちが獲得を求めて運動を繰り広げ、1920年に実現した権利は何か、答えよ。

〔7〕 中西部の農業拡張と領土拡大のため、白人による中西部への入植と、そこに古くから居住する先住民（インディアン）の排斥を正当化した言葉は何か、答えよ。

〔8〕 加盟国間における郵便物をスムーズに交換するため、アメリカやイギリスなどが1874年に設立した国際的組織を何と呼ぶか、答えよ。

〔9〕 ある祭典は古代において4年ごとに開催され、その間はいっさいの戦いが中止されていた。この祭典は、キリスト教以外の宗教行事を禁じるローマ皇帝の勅令によって、4世紀に中止されたが、クーベルタンの提唱で1896年に復活した。この古代の祭典が開催されていた場所の名前を答えよ。